

# 住みよい町づくりを目指して 平成21年度 町政座談会

町民の皆様から、町づくりに対する建設的な意見・要望を広く聴き、町政に反映する、平成21年度町政座談会が7月11日、カルチャープラザ仁多で開催されました。座談会には、各地区の自治会長、議員、町執行部など約170人が参加しました。このコーナーでは、主な内容を抜粋、要約してお知らせします。

## 布勢地区

**問1** 新庁舎の建設について効率的・効果的な行政執行を行なうため新庁舎を建設すべき時期に考えていると考えます。是非検討いただきますよう要望します。

**答1** 現在の分庁舎方式は効率的な業務に支障があることが多く、また、仁多庁舎は老朽化が進んでおり、庁舎の建築については、急ぐ課題の一つであると承知しています。合併特例債が活用できる期間は、本年を含めて六年あり、その期間内に建築できるよう進めたいと考えています。なお、建設に当たっては、住民の皆さんの声を十分に聞きながら進めます。(総務課)

**問2** 尾原ダム建設に伴う地区住民の生活環境の整備  
県道玉湯吾妻山線沿のエントランス広場の位置を早急に決定し、交流施設の建設をお願いします。

オロチ神話を伝承するため設立された、「奥出雲神代神楽社中」への支援をお願いします。  
また、佐白地内にある「長者屋敷跡」や「鏡の池」など古事記や日本書記に記述され

ている伝説地の整備や看板等の設置をお願いします。  
旧八坂神社付近の整備、ダム湖の展望施設、残土処理場の利用方策などについて、地元と十分協議の上、整備されるようお願いいたします。

**答2** エントランス広場の位置については、主要地方道玉湯吾妻山線から尾原ダムに入る佐白北原線入口に買収できる広場がないため、現在のところ、ダムに向かって左側の墓の下の平地をエントランス広場にお願ひするしか適地がないと考えています。地元でも、適当な場所がありましたらお知らせ下さい。

今後、町から補助金交付等を行い、ふるさとの神話や歴史を後世へ伝えるすばらしい郷土芸能となるよう支援いたします。(地域振興課)

また、長者屋敷跡や鏡の池等の整備については、周辺整備の一環として検討していきます。(地域振興課)

残土処理場の活用につきましては、国土交通省に要望しています。(地域振興課)

**問3** 消防消火栓及びホース等の点検整備について  
消火栓内の排水不良箇所、ホースの未設置箇所や水漏れするホースがあり、何らかの対策をお願いします。

**答3** 消火栓をはじめ水道施設について、今年度、地理情報システム化を図る予定です。なお排水不良の箇所があれば水道課までご連絡ください。(水道課)

以前から地元対応としています。ふるさとづくり助成事業やコミュニティ助成事業などが活用できますのでご理解下さい。  
また、除雪については、地元消防団、自治会などご協力をいただきますようお願いいたします。(総務課)

## 三成地区

**問1** 人材育成について  
若手職員によるワーキング

グループの設置  
提案制度を確立して職場の活性化を図る。(職員からだけでなく地域住民からの提案を積極的に受け入れる体制づくり)メリハリのある勤務時間管理等につとめ、職員の仕事に対するモチベーションを高める。  
住民の人材育成  
年間を通じた各種講演会等を開催し、住民の文化的、社会的レベルの向上に努める。  
各種ボランティアの育成強化に努める。

**答1** 若手に限らず、様々な角度から検討あるいは検証できる体制作りにも、活用を図りたいと考えます。(総務課)

職員には積極的な姿勢で職務に精励するよう指導し、気軽に提言できる組織をと考えます。  
また、住民の皆様とは、ひざを交えて話し合うタウンミーティングへも出かけて参りますので、制度化は特に必要ないと考えます。(総務課)

職員は勤務時間については、係、あるいは時期により偏りがあり、課内で調整、協力するよう指導しています。  
また、日々の仕事に対する

継続について、事業の継続と国庫負担割合を高くするよう要望します。

**答3** この制度の継続については、全国町村会を通じて昨年から要望し、県においても関係省庁へ知事重点要望を提出。継続要望は全国的な流れとなっております。  
また、制度の恒久化、協定期間の柔軟化や面積要件の緩和、財政負担を軽減するための適切な交付税措置などの制度改善や拡充についても要望しています。(農業振興課)

同事業は三年目を迎え、農地や農道、水路などの維持管理、地域の自然環境や景観保全など、地域ぐるみの協働活動が展開されています。  
また、農業や化学肥料の使用を五割以上減らした環境保全型営農活動も町内において広がっており、制度の継続について要望して参りたいと考えます。(農業振興課)

**問1** 行政と民間企業との懇談会の開催、定住対策、町内の企業に多くの雇用創出  
**答1** 町内就職の促進については、毎年横田高校生を対

象にした町内企業視察研修会  
また昨年十一月には、初めての取り組みとして、保護者対象の研修会、さらに、第三セクターと横田高校との意見交換会、商工会との懇談会を開催しました。  
秋には町内企業との連絡協議会を開催する予定です。

**問2** 「コールセンターのまちづくり」について  
本町は全国でもまれな全世界帯を網羅した高速インターネット回線を保有していることから、「コールセンターのまちづくり」を要望します。

**答2** テレビ電話事業における福祉的なコールセンターについては、現在、町内の既存の建物や情報通信ネットワークの有効活用等のメリットをアピールして参ります。

**問2** 町の動脈である道路整備について  
亀高地区内の国道四三二号について、亀高町から安来市広

## 住みよい町づくりを目指して

# 平成21年度 町政座談会

町民の皆様から、町づくりに対する建設的な意見・要望を広く聴き、町政に反映する、平成21年度町政座談会が7月11日、カルチャープラザ仁多で開催されました。座談会には、各地区の自治会長、議員、町執行部など約170人が参加しました。このコーナーでは、主な内容を抜粋、要約してお知らせします。

計画、結果を記録する「業務遂行計画書」の記入、年間の目標設定と勤務評価を試行し、職員のモチベーション、業務遂行能力の向上に取り組んでいます。(総務課)

講演会等については、関係団体で逐次開催し、周知もしておりますので、積極的に参加頂きたいと思えます。(教育委員会)

現在、奥出雲町社会福祉協議会にボランティアセンター事業を委託しています。  
ボランティアセンターが受け付けたボランティア保険加入者の状況は、七団体二百二十名の登録があり、今後、そのコーディネートや基礎的な研修機会のあり方について検討を始めます。(健康福祉課)

**問2** 住みよい街づくりをめざして  
三成市街地における歩道空間の環境整備と有効活用について  
街路灯リニューアルに伴う電線の地中化  
仁多庁舎の建設について  
消防団の将来の方向性について

有事の際に、後方での負傷者の救助、交通整理等の組織、

人材を育成する。  
また将来の消防団はどうあるべきか町としての方向性を示してほしい。  
**答2** 具体的な整備の計画策定にあたっては、市街地にお住まいの皆様が協力がなくして実現は難しいと考えておりますので、そのご意見を反映する方法として住民の皆様による組織が必要になると考えております。(建設課)

電線地中化については、本年度実施の街路灯整備事業に合せての実施は困難ですが、今後、総合的な街づくりの中の検討となります。(地域振興課)

庁舎建設については、布勢亀高、横田地区と同様の回答となります。(総務課)

横田地域では概ね各部に団員とは別に交通整理員をお願いし、無報酬ですが、出勤を頂いております。  
仁多地域でも、皆様のご了解が得られるのであれば、今後、消防団と検討してみたいと考えます。なお、後方支援は女性部が活躍すると考えます。また、将来の方向性については、本年一月に組織の見直



**問3** 農業問題について  
中山間地域等直接支払制度(新対策)について、引き続きこの制度を継続して頂きたい。出来れば予算の増額と、集落協定の必須選択要件の緩和を併せてお願いします。  
農地・水・環境保全事業の

農地・水・環境保全事業の